



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2023年10月14日発行 第20号

ワシントン日本語学校



[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

自己肯定感を高める指導について ～漢字の採点基準～

校長 三原 洋一

先月、職員の研修会において、教務補佐の提案のもと、漢字の採点基準について協議を行いました。本校の現状として、漢字の採点においては、「およその基本の形があっていればいい」「とめ、はね、はらいができていないと不正解」「漢字ドリルと少しでも違えばダメ」など、採点基準が学年によって、あるいは教員によって多少の違いがあり、共通理解が十分でないことが分かりました。

文化庁による「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）2016年」では、

漢字の字体・字形については、昭和24年の「当用漢字字体表」以来、その文字特有の骨組みが読み取れるものであれば、誤りとはしないという考え方を取り、平成22年度に改訂された「常用漢字表」でも、その考えを継承している。

とあり、「文字特有の骨組みが読み取れるのであれば、誤りとはしない」としています。

漢字指導の基本的な考え方である「小学校学習指導要領」（平成29年、文部科学省）の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」には、「2 (1) エ (エ) 漢字の指導においては、学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること」と示されています。

その上で、「小学校学習指導要領解説 国語編」（平成29年、文部科学省）では、指針について触れながら、児童の文字を評価する場合は、「正しい字体であることを前提とした上で、柔軟に評価



することが望ましい」としています。

また、文部科学省政務官通知「常用漢字表の改定に伴う中学校学習指導要領の一部改訂等及び小学校、中学校、高等学校における漢字の指導について（通知）」（平成22年11月30日）の、「2 学校教育での筆写（手書き文字）の取り扱いについて」には、次のような記述があります。

なお、改定後の常用漢字表においても、「（附）字体についての解説」の「第1 明朝体のデザインについて」や「第2 明朝体と筆写の楷書との関係について」の記載があることを踏まえ、児童生徒が書いた漢字の評価については、指導した字形以外の字形であっても、指導の場面や状況を踏まえつつ、柔軟に評価すること。

つまり、児童生徒が書いた漢字については、こういった点を踏まえた指導と柔軟な評価が行われることが期待されています。

さらに、入試や検定試験の「とめ・はね・はらい」の基準については、指針では、不特定多数の人を対象とした入学試験や採用試験・検定試験に

河合塾海外帰国生コースでは、海外で学び日本の大学をめざす受験生をバックアップするため、帰国生大学入試の説明会を実施します。北米地域では、今年度は下記の日程にてオンラインで実施します。大学入試の最新情報および合格の秘訣をお伝えいたしますので、この機会をご活用ください。テーマおよび内容は下記のとおりです。（内容は都合により変更になる場合があります。秋入学や英語プログラムの大学の情報は提供しませんのでご了承ください。）

帰国生大学入試の概況と今後の受験対策

①帰国生入試の基礎知識と海外在住中の心構え

②主な大学の最新入試情報と攻略法

③河合塾海外帰国生コースのカリキュラムの特長

★参加後にアンケートに回答いただいた方には説明会資料と情報誌「栄冠めざして帰国生入試編」のデータを進呈！

実施日時

◆実施日

11月5日（日）・15日（日）

12月3日（日）・17日（日）

◆実施時間（全地域同時実施）

米国東部時間：午後1時～3時

米国中部時間：正午～午後2時

米国太平洋時間：午前10時～正午

◆参加方法

- ・オンラインで実施します。必ず事前にお申込みください。
- ・下記のURLまたは右記のQRコードから参加申込フォームにアクセスしてお申込みください。*E-mailでは申し込みません。

<https://forms.office.com/r/6XcBRr3hB5>

- ・定員は各日程とも100家庭ですので、お早めにお申し込みください。
- ・在住国・地域に関係なく、どの日程にもご参加いただけますが、内容の一部は北米版となります。
- ・より多くの方に参加いただけるよう、**1家庭1日程のみ**とさせていただきます。
- ・参加に必要なIDとパスコード等の情報は、実施日の2～3日前に、E-mailでお知らせします。



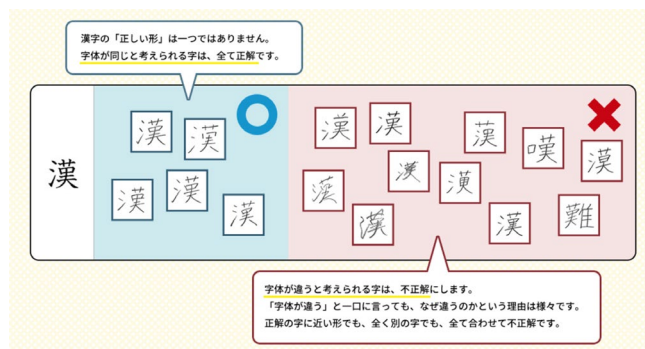
＜お問い合わせ先＞ 河合塾海外帰国生コース北米事務所 E-mail : kikoku@ujeec.org

<http://www.kawai-juku.ac.jp/kikoku/>

ついては、字形の違いを正誤の判断基準にしないという考え方に基づいた評価を求めていますし

(学校によっては、きびしく「とめ・はね・はらい」の基準で採点するところもあるようです。)、漢字検定でも、字体(骨組み)が読み取れば、漢字の細部の書き方によって不正解になることはありません。

※漢字検定の資料より抜粋



実際、子どもたちは漢字ドリルで学んでいます
が、日頃目にする本やパソコンのプリントの文字
は、明朝体、ゴシック体など、多くの書体があ
り、必ずしも漢字ドリルと同じ字では示されてい
ないことが多いのが現状です。



そこで、本校としましては、これらのことを踏
まえた指導と、柔軟な評価が必要であるという考
えのもと、共通理解を行いました。

つまり、今後、「字の細部に違いがあっても、その漢字の骨組みが同じであれば、誤っているとはみなされない。」という指針にそって採点を行います。

ただし、漢字指導においては、教科書体に則って「とめ・はね・はらい」まで細かに指導を行っ

ていくことは必要ですので、これまでどおり丁寧に指導してまいります。

昨年度から実施しています実力テストの結果によると、本校の児童生徒は、漢字の習得に課題があることが分かっています。

今後の、漢字採点の柔軟な評価によって、一人一人の頑張りが認められ、達成感が得られる指導となり、漢字学習の意欲の向上につながるとともに、個々の自己肯定感が高まることを期待しています。保護者の皆さんの、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

中高ビブリオバトルデーの取組

昨年度から始めた、中学部、高等部でのビブリオバトルの取組を今年も実施しました。ビブリオバトルとは、生徒が自分のおすすめの本をそれぞれ紹介し、どの本が一番読みたくなるかを投票して決める書評大会です。

今年のクラスチャンピオンを以下に紹介します。

中1A 山口雅敬さん「変身」

中1B 竹中仁那さん「10の奇妙な物語」

中2A 倉橋沙夜さん「君たちはどう生きるか」

中2B 八代幸司さん「すずめの戸締り」

中3A 佐藤亜美さん「浜村渚の計算ノート」

中3B ニカソン愛子さん「深夜廻」

高1 有林悠葵さん「脳人間の告白」

高2A 喜田大輝さん「一瞬の風になれ」

高2B 向山怜さん「屋上のテロリスト」

これを機会に、多くの本に出会い、読書習慣をつけてほしいと思います。

はい句詠む

春風を感じ

草の上

俳句短歌クラブ小学部四年
オスイフシエン海さん



受賞おめでとうございます

第六十八回北村季吟顕彰会

青少年の部 入選